

萩之茶屋地域のまちづくり活動 にみる『西成特区構想』に対する提案

2012.7.3

近畿大学建築学部
寺川政司

1

■ プロフィール

- ・ 近畿大学建築学部准教授，博士（工学）
- ・ CASEまちづくり研究所顧問（まちづくりコンサルタント+設計事務所）
- ・ 専門：まちづくり，ハウジング，地域・都市計画，地域マネジメント
- ・ コミュニティアーキテクトとして各地のまちづくりに携わりながら，地域の再価値化や「コレクティブタウン」の研究を進める。

■ 座談会での立ち位置

- ・ 萩之茶屋地域においては，支援者と町会双方のまちづくり活動を支援してきた立場で，特に地域の多様な主体がつながるプラットフォームである『（仮称）萩之茶屋まちづくり拡大会議』<後述>で議論されている各主体の思いやニーズを伝える翻訳家的役割（地域のすべての意見を代表しているものではないが，かなり多くの意見が集約されてきている）
- ・ まちの人々の思いに対する専門的視点からみた課題解決のための方向性や事業可能性の提案

本座談会におけるスタンス 2

■ この地域における各主体の連携状況について

- ・ これまで『あきらめ感』、『違い』、『疑心暗鬼』などによって、うまく繋がることができなかった多様な主体が連携する歴史的好機にある。
- ・ 今なお各主体間には、デリケートな関係性があるものの、お互いの「違い」を踏まえたうえで「共有」できる活動を通じて信頼関係を紡いでいる重要な時期。
- ・ 言葉のうえでの信頼関係ではなく、リアリティのある「成功体験」が必要。
- ・ その意味では、大局的・俯瞰的な専門家の意見も重要であるが、地域の人々が提案した活動案に対する具体的な課題や現実性、可能性を検証していきたい。
- ・ 専門家の提案が前面に出るよりも、地域の発意を具体化することが、まちの主体性や持続可能性を高めると考える。

本座談会におけるスタンス 3

1995年以降の おもな 萩之茶屋地域にけるまちづくり関連活動の推移

- ('97)'98～釜ヶ崎のまち再生フォーラム設立
「まちづくりサロン」
- '05～'09 大阪市計画調整局 まちづくり活動支援
萩之茶屋小学校・今宮中学校周辺
まちづくり研究会 設立（町会・社協等によるまちづくり協議会）
- ★ '08 「萩之茶屋まちづくり構想案」策定
- '09（仮称）萩之茶屋まちづくり拡大会議 設置
- '11「住まい・まちづくり担い手事業」（国交省補助事業）
課題集積地における
あきらめない「共床共夢」型まちづくり連携事業
http://www.s-m-ninaite-shien.jp/dantaihokoku/file/2010_1/31.pdf
- '11 大阪市計画調整局+健康福祉局
・あいらん地域における地域連携方策検討調査（計画調整局）
・あいらん施策のありかた検討（健康福祉局）
- ★ '12 「萩之茶屋まちづくり構想案ver.2」策定
- '95～ あいらん子ども連絡会設立
- '99～ 旧釜ヶ崎支援機構の設立
- '00～ 簡宿転用アパート建設
- '05～ 第6町会 活動開始
- '05～ OIGによる観光事業
- '06～ アートのまちづくり
- '07～ 投票に行こうキャンペーン
- '08～ 市長視察
- '08～ 萩之茶屋小学校周辺環境改善特別チーム
- '08～ 小学校横屋台の火事
- '09～ 萩之茶屋小学校統合問題検討協議会
- '09～ 7A+併用簡宿・新今宮TIC
- '10～ 再生フォーラム「まちづくりビジョン」
- '11～ まちづくり構想案の共有化
- '11～ 北公園の整備
- '12～ 西成特区構想
- '12～ 西成区特区構想有識者座談会

萩之茶屋小学校・今宮中学校周辺まちづくり研究会 について

■ 2005年：萩之茶屋連合が中心となったまちづくり協議会設立 <計画調整局 まちづくり活動支援>
 あまりに深刻な社会問題（地元対応の困難さ）



とはいえ、このまま放置しておくわけにはいかない！

まずはテーマを絞り、出来ることから！
 “普通のまち”“あきらめない”まちづくりへ

主テーマ『子どもと環境』

- 小・中学校を抱えている地域である
- みんなが共有しやすいテーマである
- 子ども視線でまちをみると色々な課題がリアルになるのでは？
- はじめから町全体の問題解決でなくまずは小学校周辺の環境改善からはじめる

萩之茶屋小学校・今宮中学校周辺まちづくり研究会 について

研究会活動における3つの目標

1: 小学校周辺の環境改善

- 野犬→咬傷事故が頻発、放し飼いや管理の不徹底
- 屋台→道路占拠・薬物取引の拠点、火気衛生問題
- ゴミ→不法投棄・火災・衛生問題

2: 地域の諸団体との連携

- 自治会活動の困難さ（委託業務増加+役員高齢化など）
- 地域課題の深刻さ（行政への個別要望の限界）
- 労働者に関わる多様な施設・組織の存在（これまでは未連携・反発関係も）

3: まちづくり構想の策定

2008年まちづくり研究会によるまちづくり構想案（理念）の策定

まちづくりの目標・コンセプト	
<p>子どもの声が聞こえるまちづくりを進めよう！ 子どもが安心して暮らせるまちづくり</p>	<p>「いざ」という時にこそ強い安全安心のまちづくりを進めよう！ ひとりでも安心して暮らせるまちづくり</p>
<p>マイナスイメージをプラスに活かすまちづくりを進めよう！ 地域資源をつむいで活かすまちづくり</p>	
活動テーマ	具体的活動
<p>子育て世帯の支援 子どもの生活環境を考えると同時に、子育て世帯が地域に根付くような多様な住まいづくりを考えよう！</p>	<p>既存ストックを利用したコレクティブハウス等、多様な住まいの検討・子育て支援施設の整備</p>
<p>環境整備 道路整備をきっかけとした学校周辺の環境整備をまちづくりのシンボルに！</p>	<p>コミュニティ道路整備 公園の再整備</p>
<p>防災・防犯 覚せい剤を排除し、いざという時の安全安心を担保する地域防災ネットワークを具体化しよう！</p>	<p>防災・防犯マップの作成 センター、自衛館、市民館、簡宿を利用した備蓄拠点整備</p>
<p>仕事雇用 既存の制度を見直しながら、地域自立・循環型の仕事を創出して、元気なまちを目指そう！</p>	<p>既存制度の再検討をおこない、雇用を創出できるような制度を新設</p>
<p>環境ECO 美化運動やリサイクルを繋げて日本一エコなまちづくりに挑戦しよう！</p>	<p>ゴミの再資源化等、雇用創出と連動したシステムの検討</p>
<p>連携 多様な主体と繋がりがながら他地域に、世界に発信するまちづくりを！</p>	<p>問題、テーマごとにつながれる団体同士で検討の場を用意</p>

2008年まちづくり研究会によるまちづくり構想案（理念）の策定



